

令和 7 年度 学校自己評価書

学校名 長野日本大学小学校

評価実施日 令和 8 年 3 月 18 日

公表日 令和 8 年 7 月 22 日

1 理念と教育目標

理念

学校法人長野日本大学学園(以下、長野日大)は「ミライチェンジリーダー」の育成を目標に掲げています。急速なグローバル化にともない、将来の世代にとって、4つの能力を身に付けることが大切です。

1. 思いやりの心を持った人を育む
2. 主体的ならびに自律的な態度を育成する
3. 他者との協働による社会貢献を支援する
4. 生涯学習者を育てる

このような能力を備えた学習者を育成するため、私たちは探究心、国際理解、バランスの取れた心身の発達、分析的な思考を重視しています。学習者は言語の習得を通してこれらの技能を学び、伸ばしていきます。言語はすべての思考の中心であり、私たちは責任をもって彼らの言語能力を最大限に引き上げ、より複雑で批判的な思考を身につけるための支援をしていきます。この目的を果たすため、私たちは国際基準の教育プログラムを導入したいと考え、長野日大の教育に 国際バカロレア (IB) 教育プログラムを加えることにしました。IB の理念と目指す学習者像は、本校の教育方針と一致しています。

長野日大は「ミライチェンジリーダー」を育成するために、学校自身も世界に貢献する存在でなければなりません。私たちは学習者のための理想的な教育プログラムを追求するだけでなく、世界中の学校と協力して、お互いに情報を共有し、学び合いたいと考えています。これは、私たちが国内および世界の教育を牽引したいという目標の一部となります。

教育目標

全人的な人間形成を重視し、幼児・児童・生徒(以下、学習者)が主体的ならびに自律的な思考と言動を他者と協働しながら学ぶことで、生涯学習者としてのスキルを身につける。

2 令和7年度重点目標

重点目標	具体的な取組
主体的な学びの実現	探究的な学習・ICT 活用の推進
豊かな心の育成	異学年交流・道徳教育・人権教育
安心安全な学校	危機管理体制・防災教育
信頼される学校づくり	保護者・地域との連携強化

3 自己評価

評価基準

A: 十分達成した

B: 概ね達成した

C: 一部改善が必要

D: 抜本的改善が必要

(1) 教育課程・学習指導

評価項目	評価	成果	課題・改善策
教育課程の編成	A	教育課程を計画どおり実施できた。年間指導計画の見直しも行った。	教科横断的な学習をさらに充実させる。
授業改善	A	全教員が外部への公開授業を行い、授業改善に取り組んだ。	より適切な評価の仕方について検討していく。
主体的・対話的で深い学び	A	探究活動を各学年で実践できた。	児童に対する問いの作り方、課題の設定の仕方について研究を進める。
ICT 活用	A	一人一台端末を授業で日常的に活用できた。	情報リテラシースキルの向上のための教育活動の開発と実践を行う。
学力向上	B	各種検定に積極的に挑戦した。 (日本漢字能力検定での優秀団体賞の受賞) 外部模試では全国平均を上回った教科が多かった。	思考力・表現力の育成を重点化する。

(2) 生徒指導・教育相談

評価項目	評価	成果	課題・改善策
生活指導	A	落ち着いた学校生活を維持できた。	挨拶の定着をさらに図る。
いじめ防止	A	毎学期末にアンケートを実施し早期対応に努めた。重大事案はなかった。	SNS 利用に関する指導を充実させる。
教育相談	B	定期面談を実施し、保護者との連携を図った。	相談記録の共有方法を改善する。

(3) 学校安全・危機管理

評価項目	評価	成果	課題・改善策
防災教育	A	避難訓練を年 4 回実施した 交通安全教室と生活安全教室を実施した。。	保護者引渡し訓練を実施する。
危機管理マニュアル	B	マニュアルを全面改訂した。	初動対応フローチャートを追加する。
施設安全点検	A	毎月点検を実施し重大事故はなかった。	遊具点検を専門業者と連携する。
感染症対策	A	感染拡大を防止できた。 保護者及び関係各部署への報告と連携体制を確認できた。	備蓄品の見直しを行う。

(4) 学校運営

評価項目	評価	成果	課題・改善策
校務分掌	B	分掌ごとの役割が明確になった。	業務の平準化を進める。
校内研修	A	年間 12 回実施した。	授業研究の時間確保が課題。
働き方改革	B	会議時間を 20%削減した。	ICT による校務効率化を進める。
教職員連携	A	学年会・部会が定着した。	若手教員の育成を強化する。

(5) 保護者・地域との連携

評価項目	評価	成果	課題・改善策
学校だより	B	2ヶ月に一度以上の頻度で発行した。	IB 教育についての理解を広げるための内容を充実する。
ホームページ	B	更新回数が昨年度比 1.5 倍となった。	動画による情報発信を検討する。
学校公開	A	授業公開を年 5 回(5 週間)実施した。	保護者からのフィードバックをもらう
PTA との連携	A	各行事で円滑な協力体制が築けた。	総会やワークショップなどの保護者向け行事への参加促進を検討する。

(6) 学校経営

評価項目	評価	成果	課題・改善策
教育目標の共有	A	教職員全員が共通理解のもと教育活動を実施した。	保護者への周知をさらに進める。
学校経営計画	A	重点目標を概ね達成した。	成果指標を数値化する。
PDCA サイクル	A	様々な規模での形成的・総括的評価を取り入れ、それを改善に繋げている。	小学校としての評価と改善はもちろんだが、幼稚園・中学校・高校という、学園全体での成長に繋げていく。

4 重点目標の達成状況

重点目標	評価	成果	今後の改善
主体的な学び	A	探究活動が全学年に定着した。	評価方法を改善する。
豊かな心	A	異学年交流が活発化した。	地域との交流を増やす。
安心安全	A	重大事故ゼロを継続した。	防犯訓練を充実させる。
地域連携	B	学校公開参加者が増加した。	地域ボランティアとの連携を深める。

5 今後の改善方策

(1) 教育活動の充実

本校では、IB PYP の理念に基づく探究的な学びを教育活動の中心に据え、児童一人一人が自ら問いをもち、考え、協働しながら学びを深める授業づくりをさらに推進する。各教科と探究の関連性をより明確にし、教科横断的な学習を充実させるとともに、児童の思考の過程や成長を適切に評価できるよう、形成的評価やルーブリックの活用を一層進める。また、ICT や生成 AI 等の新しい教育ツールも効果的に取り入れ、児童が情報を主体的に活用し、自ら学び続ける力を育成していく。

(2) 学校運営・教職員の専門性向上

教職員一人一人が学校教育目標や学校経営方針を共有し、組織的に教育活動を推進できる体制づくりをさらに進める。IB PYP の実践力向上を目的とした校内研修や授業研究を継続するとともに、教員同士が互いの授業を参観・協議する機会を増やし、学校全体として授業改善に取り組む。また、校務の ICT 化や業務改善を進めることで教職員が児童と向き合う時間を確保し、教育の質の向上につなげる。

(3) 児童一人一人を支える教育の充実

児童が安心して学校生活を送り、自分らしさを発揮できる学校づくりを目指す。定期的な児童アンケートや面談を通して児童理解を深め、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応に努める。また、児童の「好き」や「得意」を大切にし、多様な学び方や挑戦する機会を保障することで、自己効力感や主体性を育む教育を推進する。

(4) 安全・安心な学校づくり

児童が安全で安心して学校生活を送ることができるよう、危機管理体制のさらなる充実を図る。危機管理マニュアルの定期的な見直しを行うとともに、災害、不審者対応を想定した実践的な訓練を継続して実施する。また、教職員間の情報共有体制を強化するとともに、保護者との連携を深め、緊急時にも迅速かつ適切に対応できる体制を整備する。

(5) 保護者・地域との連携の深化

本校の教育活動について積極的な情報発信を行い、保護者や地域との信頼関係をさらに深める。学校ホームページや各種通信等を活用して、児童の学びの様子や教育の成果を分かりやすく発信するとともに、学校公開やオープンスクールなどを通して教育活動への理解を促進する。また、地域の企業や大学、行政等との連携を進め、児童が地域社会や世界とのつながりを実感できる学習機会を充実させる。

(6) 15 年一貫教育の推進

長野日本大学学園の強みである幼稚園から高校までの 15 年一貫教育をさらに充実させるため、校種間の連携を一層深める。幼稚園との接続教育や中学校との学びの接続を意識した教育課程の改善を進めるとともに、異校種交流や合同学習の機会を拡充し、児童が学園全体の教育環境の中で継続的に成長できる体制を整える。また、学園全体で育成を目指す資質・能力を共有し、一貫した教育の実現を図る。

～ 児童アンケート結果 ～

(令和8年 7月6日～10日実施)

回答率 100%

— 授業・活動について —

4段階で評価

1 2 3 4

まったくそう思わない

つよくそう思う

1.先生は、答えだけでなく、考え方や理由を大切にしてくれますか。	3.39
2.考えを深める質問をよくしてくれますか。	3.31
3.間違えても、「考えたこと」を認めてもらえると感じますか。	3.27
4.先生は、すぐに答えを言わず、考える時間を待ってくれますか。	3.39
5.この授業では、自分の考えを整理してから話すことができますか。	3.22
6.先生は、どう考えているのかを示してくれますか。	3.19
7.答えが一つではない問題を、一緒に考えてくれますか。	3.24
8.先生の質問は、考えたくなる質問だと思いますか。	3.25
9.自分の疑問を、大切にしてもらえていると感じますか。	3.27
10.授業では、友だちの考えを聞くことが大切にされていますか。	3.39
11.意見が違って、安心して話せる雰囲気がありますか。	3.27
12.「ちょっと難しいけどやってみたい」と思う課題がありますか。	3.28
13.一つの答えではなく、いろいろな考え方ができる課題がありますか。	3.31
14.もっと良くするためのヒントをもらえますか。	3.28
15.結果よりも、次にどう考えるかを教えてもらえますか。	3.31

— 学校生活について —

- 学校が楽しい 89%
- 先生に相談できる 97%
- 安心して生活できる 95%